

第31回「桃陰文化フォーラム」
《 邦楽サロン ～ 長唄を聴く会 ～ 》

みやこどり うらしま あきのいろくさ
「都鳥」・「浦島」・「秋色種」

・講師：^{きねや} ^{かつとしま} 杵屋 勝寿真 先生（高11期）^{まつなが} ^{わさちほ} 松永 和三千保 先生（高20期）

講師プロフィール

^{きねや} ^{かつとしま}
杵屋 勝寿真先生



本名 森本加寿子。本校 11 期卒業生。
高校在学中は日本舞踊で立つ夢はあったが、長唄の良さに気づき勉強をはじめ、杵勝会の杵屋勝寿治師に師事。唄方として、舞台に出演。
女性邦楽グループ「わ」の公演を重ねるなかで、松永和三千保さんと知り合う。

メッセージ：松永和三千保さんと同窓生であることがわかり、是非、母校で長唄の演奏をと言うことで今日の日を迎えることができました。親しみやすい邦楽の一つとして、長唄を楽しんでいただけたら嬉しいです。

^{まつなが} ^{わさちほ}
松永 和三千保先生



本名 青山せつ子。本校 20 期卒業生。
高校卒業後、間もなく長唄の稽古を開始。
現在は松永忠五郎家元のもとで活動を行う。
大阪府立高校にて講師として3年生対象に「長唄・三味線」の授業を行う。

メッセージ：長唄界ではなかなか出会わない同窓の先輩、杵屋勝寿真さんと知り合い、是非2人で演奏をと願っていたので実現できてうれしいです。
母校の方達にも、日本の財産を知ってもらいたいと思います。

助演：松永和三千紘先生、松永和三紘野先生、松永和三佳保先生、藤舎次朋先生

「桃陰文化フォーラム」とは、天高教育支援の一環として、各界で活躍する卒業生のネットワークを活用し、日頃授業ではなかなか学ぶことが難しい分野についてすぐれた講師をお招きし、講演やワークショップを通じて生徒諸君が広く世界に眼を開き、将来の自己実現・進路選択に役立てることを期すと同時に、地域に開かれた学校を目指すべく広く一般の方にも呼びかけ、参加していただくというものです。

今回の文化フォーラムは、天王寺高校11期生である杵屋勝寿真（本名：森本加寿子）先生と20期生である松永和三千保（本名：青山せつ子）先生のお二人をお招きし、《邦楽サロン～長唄を聴く会～》と題してご公演いただきます。

長唄とは近世邦楽の一種で、江戸で歌舞伎舞踊の伴奏音楽として発展した三味線音楽のことです。初期の歌舞伎の踊り歌と、元禄期（1688～1704）に江戸にもたらされた上方長歌とを基に、享保期（1716～1736）に確立し、以後、各種の音曲の曲節を摂取しつつ大成されました。このような、日本の伝統文化に触れる機会はなかなかないことだと思いますので、是非、ご参加ください。

日 時 平成26年11月15日（土）午前11時 より
場 所 天王寺高校 多目的ホール（北館3F）
聴講料 無料
申込方法 電話、FAX、Eメールのいずれでも受けつけております。
定員 150名程度

申込締め切り 11月12日（水）
（お申し込みは下記のいずれかをお願いします。）

大阪府立天王寺高等学校 「桃陰文化フォーラム」事務局
545-0005 大阪市阿倍野区三好町2-4-23
T e l 06-6629-6801 教頭 今堀 直三
または 06-6627-4386 同窓会事務局
F A X 06-6629-4889 または 06-6627-4386
E-m a i l : office@touin.org

*本校には駐車場がございませんので、お車での来校はご遠慮ください。